

いろいろな形があるダム

ダムの種類は大きく分けると、本体を①コンクリートでつくる「コンクリートダム」と、②岩石や土を積み上げてつくる「フィルダム」があります。また、それを組み合わせた複合ダム(コンバインダム)もあります。

ダムに求められる役割や大きさ、つくる場所の地形や地盤の強さなどによって、下のイラストのように、さらにいくつかの型式に分かれています。

違いは
何でしょう？

①コンクリートダム



アーチ式
コンクリートダム



重力式
コンクリートダム



バットレスダム

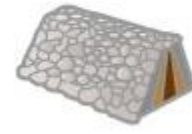


台形 CSGダム

②フィルダム



アースダム



ロックフィルダム

重力式 コンクリートダム

アーチ式 コンクリートダム

ダムには、湖に貯まった水からの巨大な水圧がかかります。この水圧の支え方の違いによって、ダムの型式を分けることができます。

コンクリートダムの中でも、水圧をダム自体の重さで支えるものを「重力式」、左右や下の岩盤で支えるものを「アーチ式」と呼びます。



重力式コンクリートダム

写真: [夕張\(ゆうばり\)シューパーダム](#) (所在地: 北海道)



アーチ式コンクリートダム

写真: [鳴子\(なるこ\)ダム](#) (所在地: 宮城県)

ロックフィルダム アースダム



ロックフィルダム

写真: [徳山\(とくやま\)ダム](#) (所在地: 岐阜県)

地盤の比較的弱い場所でも大きなダムをつくりやすいことがフィルダムの特徴です。その代表例が、水を通しにくい粘性土などで分厚い壁をつくり、両側に岩石や砂利、砂などを積み上げて壁を支える「ゾーン型ロックフィルダム」。

土を積み上げてつくる「アースダム」もフィルダムの一種で、日本では1400年も前からつくられています。

(狭山池ダム(大阪府)など)

工夫がたくさん

これらのダム以外にも、中空重力式コンクリートダムや、バットレスダム、台形CSGダムなど、いろいろな種類があります。

どれもこれも、その当時に様々な工夫を凝らして造り上げたもので、それぞれに見どころがあります。

ダムの種類については、「[ダム事典](#)」に分かりやすく解説されていますのでご参考ください。



ダムは重力式コンクリートダムとフィルダムの複合ダム
[忠別\(ちゅうべつ\)ダム](#) (所在地: 北海道)



笹流(ささながれ)ダム(所在地: 北海道)はバットレスダム
写真提供: 萩原雅紀氏